

2021年 6月 22日

広島大学長
越智 光夫 殿

広島大学教職員組合
執行委員長 河西 英通

夏季賞与の優秀者加算枠の減少、 及び賞与の年間0.05月の減額について

貴職の日頃の奮闘と当組合活動へのご理解・ご協力に敬意を表します。

さて、標記の件ですが、5月20日付で「今般の新型コロナウイルス感染症の拡大への対応のため、昨年度6月期と同程度の数を配置する予定としています。」と事前のお知らせをいただきました。つまり、枠を減少したままの運用をされるということです。また、6月14日の協議において、昨年度の賞与減額0.05月分（約2万円×約3500名＝約7000万円）の使途についてご説明が途中でした。このことについて以下2つを申し上げます。

① 優秀者加算枠について

これらの枠は繰り返しになりますが、当初の設計では良好ランク（C）から0.015月に更に0.015月上積みし計0.03月分を徴収し「大学全体で優秀者を計150名増加するベースとする（内訳は優秀100名、特に優秀50名）」という内容です。これを緊急対応として2年連続してコロナウイルス拡大への対応に充てるというのは、趣旨が違います。緊急とはいえ、「新型コロナウイルス感染症の拡大への対応」については、範囲が不明確、予想以上に長期化の懸念があります。なし崩しにこのような召し上げ額の使途変更を繰り返さず、より賢明な経営判断を行われるよう求めます。

当然12月期の冬季賞与の優秀者加算枠は当初の設定とおりに戻す、又は良好ランクから0.03月分の控除を止めるように求めます。

② 賞与減額0.05月分について

今年度もこの減額総計約7000万円について使途説明を求めます。

以 上